

小生が本誌編集委員を拝命してから早いもので、この4月で3年が経過します。この間、手術支援ロボットを取り巻く環境は大きく変化いたしました。2022年4月の診療報酬改定では、肝切除術、結腸切除術が新たに追加となり、胃切除においては消化器外科領域で唯一の診療報酬加算が認められました。ロボット新規機種の開発も活発で、hinotori サージカルロボットシステム（メディカロイド社）、da Vinci SP サージカルシステム（インテュイティブサージカル社）、ANSUR サージカルユニット（朝日インテック社）、Saroa サージカルシステム（リバーフィールド社）、Hugo RAS システム（コヴィディエンジャパン社）などが続々と製造販売承認され、市場に出回ることとなりました。本誌においても大きな変化があり、新たに「video articles」の掲載が開始されました。医療機器はとどまることなく改良され、発展していますが、それらを使いこなす外科医の技術も日進月歩で向上してきています。この「video articles」は、文章や静止画のみでは説明不十分な部分を動画で視覚的に補うことができるため、技術の共有という点において、本誌が読者の先生方にとってこれまで以上に有用なものとなれればと願っています。

本号は、原著1編、症例報告11編、video articles 1編を掲載しております。「video articles」は完全内臓逆位の転移性肝腫瘍に対する腹腔鏡下肝切除術であります。非常に稀な症例に対する手術を疑似体験できた気になりました。原著論文では、閉塞性左側大腸癌に対する術前ステント留置の短期・長期の安全性、有用性を報告しています。症例報告では、ロボット支援直腸手術時に体幹部の挫滅症候群を起こした1例やLVAD装着患者に対する単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の1例が報告されております。私自身は経験がなく、このような概念もなかったものですから、非常に勉強になりました。その他も珍しい症例報告が多く、臨床的に価値の高い内容と感じております。お忙しいなかご執筆されました著者の先生方の努力に敬服いたします。ぜひともご一読いただき、明日からの臨床にお役立ていただけますと幸いです。

(柴崎晋)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第29巻 第2号) 2024年3月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

(1部) 価格: 3,080 円 (本体 2,800 円 + 税 10%)

2024年 年間購読料: 18,018 円 (税込) * 学会員は学会ホームページから閲覧できます。

編集・発行: 日本内視鏡外科学会 (理事長: 北川雄光)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 日本コンベンションサービス株式会社内

☎ 03-3503-5917 Fax 03-3508-1257 E-mail: info-jses @ convention.co.jp (担当: 平澤)

<http://www.jses.or.jp>

発 売: (株)医学書院 (代表: 金原 俊) (本誌担当: 小山, 小路)

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 / E-mail: jses @ igaku-shoin.co.jp)

販売・PR 部直通 ☎ 03-3817-5659 (Fax 03-3815-7804)

電子出版コード 260F2600029002000000

- ・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は日本内視鏡外科学会が保有します。
- ・本誌を無断で複製する行為は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療、研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・JCOPY (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物) 本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(株) 出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。